



News Release

関係各位

2023年8月25日
大鵬薬品工業株式会社
Phost'in Therapeutics SAS.

大鵬薬品と Phost'in Therapeutics、 GnT-V 阻害剤 PhOx430 に関するオプション契約を締結

大鵬薬品工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林将之、以下「大鵬薬品」）と Phost'in Therapeutics SAS（本社：フランスモンペリエ、CEO and Co-Founder：Karine Chorro、以下「Phost'in 社」）は、Phost'in 社が開発を進めている GnT-V（N-アセチルグルコサミン転移酵素 V）をターゲットとした低分子化合物 PhOx430 に対して、大鵬薬品がオプション行使権を取得するオプション契約を締結したことをお知らせします。

本契約に基づき、大鵬薬品は Phost'in 社に契約一時金を支払い、その対価として Phost'in 社が開発中の PhOx430 および複数の化合物について日本およびその他アジア（中国を除く）にて独占的に開発および販売するライセンスのオプション権を取得します。オプション権を行使した場合、大鵬薬品はオプションフィーの支払いに加え、開発、薬事、販売のマイルストーン達成に付随した支払い、および対象地域における純売上高に対するロイヤリティ支払いを行います。

Phost'in 社は、今回オプション契約の対象となった化合物について製造を担当する他、北米、欧州、中国などの地域における開発および販売の権利を保持します。

PhOx430 について

PhOx430 は、免疫反応の抑制、がんの増殖、さらには線維化組織の形成に関与する N-結合型グリコシル化酵素である GnT-V を標的とするファーストインクラスの N-結合型グリコシル化阻害剤であり、現在、欧州において進行性固形がん患者を対象とした第 I / II 相試験 (PhAST 試験) で評価されています。PhOx430 は、特許を取得している化学ライブラリーと最先端のスクリーニング技術を組み合わせ、がんやその他の重篤な免疫炎症性疾患の治療薬として選択的な N-結合型グリコシル化阻害剤を創出するユニークな Phost'Screen™ プラットフォームで創製された最初のプログラムです。

大鵬薬品について

大鵬薬品は、大塚ホールディングス株式会社の事業会社で「私たちは人びとの健康を高め満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」を企業理念とし、「がん」、「免疫・アレルギー」の2領域に注力する研究開発型のスペシャリティファーマです。特にがん領域においては、国内におけるリーディングカンパニーの一つとして知られており、グローバル化も積極的に推進しています。がん領域以外におきましても生活の質の向上に貢献できる製品を販売しています。また、コンシューマーヘルスケア事業でも生活者志向を第一に愛情豊かな暮らしを支える商品作りに注力しています。大鵬薬品の詳細については、<https://www.taiho.co.jp> をご参照ください

Phost'in 社について

Phost'in 社は、異常な病原性グリコシル化を特異的に標的とする新規化合物の創製と開発を専門とするバイオテクノロジー企業です。同社が臨床開発中の PhOx430 に加え、専門知識と独自の創薬基盤を駆使して、他疾患における創薬研究プログラムを主導しています。学界からのスピンオフ企業である Phost'in 社は、自社で保有している特許に加えて、CNRS (フランス国立科学研究センター)、ENSCM (モンペリエ国立高等化学大学院)、モンペリエ大学、ソルボンヌ・パリ・ノール大学、パリ・サクレ大学が所有する 2 つの学術特許の独占的使用権を保有しています。フランスのモンペリエを拠点とする同社は、設立時にフランス研究省の 2014 年 I Lab コンペティションで国家特別賞を受賞し、その後、bpifrance、LifeScience cluster Eurobiomed、Region Occitanie、Montpellier Med Vallée から新たな支援を受け、複数の国際ファンドから€1200 万を集めています。

Phost'in 社に関する詳細は、www.phostin.com をご覧いただくか、Phost'in 社の CBO である Richard Meadows (richard.meadows@phostin.com) までお問い合わせください。